

# CASBEE® - 建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	博多女子高等学校	階数	地上7F
建設地	福岡市東区馬出1丁目91,92,93,94	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、第二種20m高度	平均居住人員	750 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,500 時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年7月 予定	評価の実施日	2016年2月25日
敷地面積	2,599 m <sup>2</sup>	作成者	(株) 汎建築研究所
建築面積	1,460 m <sup>2</sup>	確認日	2016年2月29日
延床面積	7,634 m <sup>2</sup>	確認者	(株) 汎建築研究所



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 2.2**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

92 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質 Qのスコア = 3.5**

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.2

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.6

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.8

### LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.8

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.1

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.7

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	建物周囲にオープンスペースと広場を設けて緑化し、周辺とのなじみを良くした。 また、建物の分節化、一部低層化、曲面屋根の導入、及び窓先プランターにより階層ごとに草花の彩りを添えるなど、巨大感、圧迫感の解消を計った。	その他 0
Q1 室内環境	空調を行う室のガラスはLOW-eガラスとし、熱負荷を抑え、内装材に化学汚染物質を使用せず、室内環境の向上を図った。	Q3 室外環境(敷地内) 建物前面に自然樹形の高木を配置し、まちなみや景観に配置した。
LR1 エネルギー	効果的な負荷抑制と省エネルギー機器の採用によるエネルギー消費の抑制を行っている。 屋根全般に高反射対策、緑化を行い、日射による輻射熱の低減を図った。	LR3 敷地外環境 地表面被服対策・屋根面被服対策を行い、敷地外環境に配慮しているまた、景観配慮や外観色彩の統一を図った。
Q2 サービス性能	福岡市まちづくり条例に準拠し、バリアフリーな建物とした。 維持管理に配慮した設計として、防汚性の高い塗装や効果的な水切等による外壁汚れの防止、また外部に露出す	
LR2 資源・マテリアル	トイレ洗浄水に「井水」を利用し、また節水型器具を選定することにより、節水を図った。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される